

提案授業（外国語活動）について

本時のねらい
時刻の尋ね方に慣れ親しむ。

伸ばしたい資質・能力		学習活動
知識	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数字を表す言葉 (one,two … twelve,thirty) ・ 時刻を尋ねたり、答えたりする言い方 (What time is it ? / It's ~) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 時刻ゲームを通して、時刻を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 ・ 時刻を尋ねたり答えたりする活動を通して、感じたことや気付いたことを伝え合う。
技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 時刻ゲームを通して、時刻について尋ねたり、答えたりすることができる力 ・ 相手に分かりやすく伝えるためにコミュニケーションポイント (Eye contact, Smile, Gesture, Clear voice) を意識し工夫する力 	

＜提案する手立て＞

①時刻を尋ねる言い表し方に慣れ親しませるための活動の工夫

- ・ チャンツやゲームを通して、コミュニケーションポイントを意識しながら時刻の尋ね方を伝える言い表し方を練習する。
- ・ 時刻ゲームで多くの児童とコミュニケーションが図れるようにする。

②本時のねらいに即した振り返りをさせるための工夫

- ・ ねらいを意識させながら、振り返りカードに本時の取組への自己評価と感想を書く。
- ・ 活動を通して、感じたことや気付いたことを数名の児童に発表させ、ねらいやコミュニケーションポイントに対する肯定的な評価を行ったり、賞賛の言葉がけを行ったりしながら、次時への意欲付けを行う。

＜協議の視点＞

本時のねらいや伸ばしたい資質・能力について

- ①「手立て①」は有効であったか。
- ②「手立て②」は有効であったか。

校内研修テーマ

友達と積極的にコミュニケーションを図る児童の育成
—自分の思いや考えを英語で表現する活動を通して—

	目指す児童像	見取りの視点
中学年	友達とやり取りしながら積極的に活動に取り組む児童	<ul style="list-style-type: none"> ・ 友達と仲良く ・ 様々な表現を工夫して

外国語活動学習指導案

平成28年11月24日(木) 第5校時
第4学年1組 場所 2階多目的ホール
HRT:本間 達也 JTE:高山 直美

1 単元名 時間を尋ねよう

2 考察

(1) 教材観

①学習内容・学習指導要領上の位置付け

- ・1(1)「外国語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験すること。」
- ・1(2)「積極的に外国語を聞いたり、話したりすること。」

②主な伸ばしたい資質・能力

- ・友だちと尋ねたり答えたりする簡単なやり取りを通じて、進んで相手と関わろうとする態度。
- ・英語のリズムやイントネーションに慣れ親しみ、自分や身のまわりのことについて表現する能力。
- ・日本語と英語の音の違いや言葉の面白さ、豊かさに気付ける能力。

③そのために必要な指導・学習活動

- ・歌やチャンツなどから、英語を使ったあいさつや身近なものの言い表し方に慣れ親しむ活動。
- ・What time is it? It's～. などの時刻を尋ねたり答えたりする活動に必要な表現に慣れ親しむ活動。
- ・相手の活動や取組の様子に対して、認めたり賞賛したりする表現を進んで使うことができるような指導

④今後の学習の活用

- ・買い物をする場面で、ほしい物を伝えたり、値段をたずねたり、答えたりする活動
- ・誕生日の言い方を使って、友だちに誕生日を尋ねたり、自分の誕生日を答えたりしながら交流する活動

(2) 児童の実態及び指導方針 (男子11人 女子8人 計19人)

①既習の学習内容や活動

- ・What do you ~? やI want ~. を使った活動を行い、ほしいものを尋ねたり、答えたりするのに必要な語彙に慣れ親しんできた。

②実態及び方針

- ・英語を使ったあいさつや簡単な自己紹介を行う活動を通して、友だちとのやり取りに積極的に参加しようとする姿が見られる。しかし、英語を使った発音や語彙の少なさから、まわりの人たちと関わろうとすることに消極的な姿が見られる児童もいるので、ちょっとした発音の違いや言葉が正確でなくても大丈夫であるという雰囲気づくりを行っていくようにする。
- ・時刻という生活に密着した内容から、具体的な場面を想定しながら活動を行うことで、言い方を意識しなくても英語で表現できるようにする。
- ・これまでの活動で、goodやniceなどの表現に慣れ親しんできているので、相手を褒める表現を進んで使えるようにする。
- ・振り返りの時間に児童同士で感想を伝え合い、いろいろな見方や考え方、感じ方に気付くことができるようにする。

3 単元の目標

時刻を尋ねたり答えたりしながら、友だちと交流できる。

4 主な表現や語彙

- 場面 「時刻を尋ねたり答えたりする」「時刻ゲーム」
- 新出表現 What time is it? It's ~.
- 語彙
 - ・共通して使うもの: What time is it? It's ~
 - ・選択して使うもの: one ~ twelve, thirty

5 指導と評価の計画（全4時間計画 本時は第3時）

評価規準	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	時刻を尋ねたり答えたりする言い方を使って交流している。					
	外国語への慣れ親しみ	時刻を尋ねたり答えたりする言い方を使っている。					
	言語や文化に関する気付き	数字の言い方が分かり、英語の音の特徴に気付いている。					
時間	主な内容	主な伸ばした資質・能力		主な学習活動	コ	慣	気
		知識	技能等				
第1時	・数字の言い方を知り、英語の音の特徴に気付く。	・英語の数字の言い方を理解し、英語と日本語の音の違いに気付く力。		・ビンゴゲーム ・計算ゲーム			○
第2時	・時刻の答え方に慣れ親しむ。		・尋ねられたことを聞き取り、答えることができる力。	・Wow！ ゲーム ・何時でしょうゲーム		○	
第3本時	・時刻の尋ね方に慣れ親しむ。		・時刻ゲームを通して、時刻について尋ねたり、答えたりすることができる力。 ・相手に分かりやすく伝えるためにコミュニケーションポイントを意識し工夫する力。	・数字の言い方に親しもう！ ・時刻ゲーム		○	
第4時	・時刻を尋ねたり答えたりしながら、友だちと交流する。	・時刻を尋ねたり答えたりしながら、コミュニケーションを楽しく図ろうとする態度。		・世界の人に時刻を聞こう！	○		

「CAN-Dおリスト」の形での学習到達目標（第4学年）		
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き
・尋ねたり答えたりするなど簡単なやり取りを通じて、進んで相手と関わろうとしている。 ・英語で聞いたりまねしたりしながら活動を楽しみ、簡単なあいさつなどをの表現で相手と関わろうとしている。	・自分や身の周りのことを英語のもつリズムやイントネーションで尋ねたり答えたりしている。 ・身近な事柄について、簡単な英語で聞かれたことや答えていることが分かり、そのことについて尋ねたり、答えたりしている。	・日本語と英語の音の違いや言葉の面白さ、豊かさに気付くとともに、日本と外国との文化の相違点や共通点に気付いている。

6 本時の展開

- (1)ねらい 時刻の尋ね方に慣れ親しむ。
- (2)準備 数字カード、時刻の絵カード、アルファベットワークシート 振り返りカード
- (3)使用表現 What time is it? It's ～. 使用語彙 数字(one ～ twelve、thirty)

(4)展 開

学習活動	時間	支援及び指導上の留意点
1 あいさつをする。	5	<ul style="list-style-type: none"> ○簡単なあいさつをする。 ○曜日、日付、天気について質問する。個別に聞き、全体で確認する。 ○「Seven Steps ♪」を歌う。 *HRT・JTEは児童と一緒にリズムに合わせて、体を動かしながら歌うようにする。
2 音とつづりに関する活動を行う。	10	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>Sの言い方となぞり書き</p> <ul style="list-style-type: none"> ①JTEの後に続いて発音する。 ②大文字のSと小文字のsのなぞり書きをする。 ③語からsを探す。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ○絵カードを示しながら、JTEの後に続けてゆっくり言う。 ○文字を言いながら、なぞるように手本を示す。
<p>3 HRTとJTEの会話から、内容を類推する。</p> <p>4 本時のめあてを確認する。</p> <p>5 数字の言い方と時刻の言い方を練習する。</p> <p>6 時刻ゲームに取り組む。</p>	25	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>HRT : Excuse me. What time is it ?</p> <p>JTE : It's seven thirty.</p> <p>HRT : Oh! seven thirty. Thank you.</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○時計を指し示したり、ジェスチャーを交えながら理解を促す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>めあて：時こくをたずねよう</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○1～12と30の数字のカードを示しながら児童と一緒に言う。 ○thirtyが入った時刻の言い方を練習する。 ○慣れてきたら手拍子などでリズムをとりながらくり返しを練習する。 ○HRTとJTEで手本を示し、コミュニケーションポイントとなる部分に気付かせさせる。 ○ペアを作らせる際には、必ずお互いにあいさつをしてから、はじめさせる。 ○1回ずつやりとりをしたら、他の相手を探させ、男女にかかわらず多くの友だちと交流できるようにさせる。 ○クラスの半分くらいの人数とゲームが終わった後に、よくできていた児童にゲームのやりとりをやってもらい、どこがよかったのかを全体に投げかけ、コミュニケーションポイントについての振り返りをする。 ○コミュニケーションポイントを意識させながら、ゲームの続きを行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【慣】時刻の尋ね方を使って質問している (評価方法：観察・振り返りカード)</p> </div>
7 本時のまとめを行い、ねらいにそった振り返りを行う。	5	<ul style="list-style-type: none"> ○本時のねらいとコミュニケーションのポイントを確認し、どんなことができたのかを想起させる。 ○頑張ったことやできるようになったことについて言葉がけをする。 ○2、3名程度の児童に発表を促した後、よかったところを紹介し、全体の前で賞賛する。

表れてほしい児童の意識

「コミュニケーションポイントに気を付けて友達に時刻を尋ねることができたな」

「発音が難しかったけれど、相手に分かってもらえてうれしかったな」

「thirtyが難しかった。もっと上手に発音できるようにしたいな」